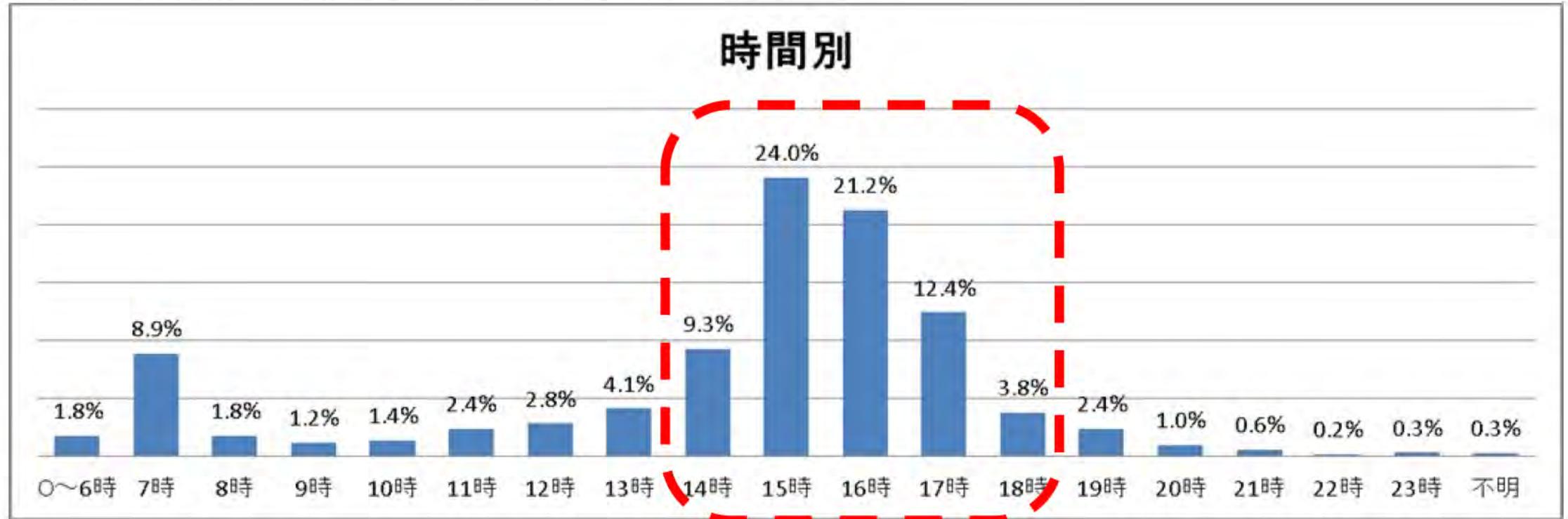


子どもたちの放課後を救おう



「子どもの犯罪の発生時間帯」 (2018年千葉県警察調べ)



14-18時に約70%以上が集中

失われた3つの間

時間

とにかく忙しい
子どもたち

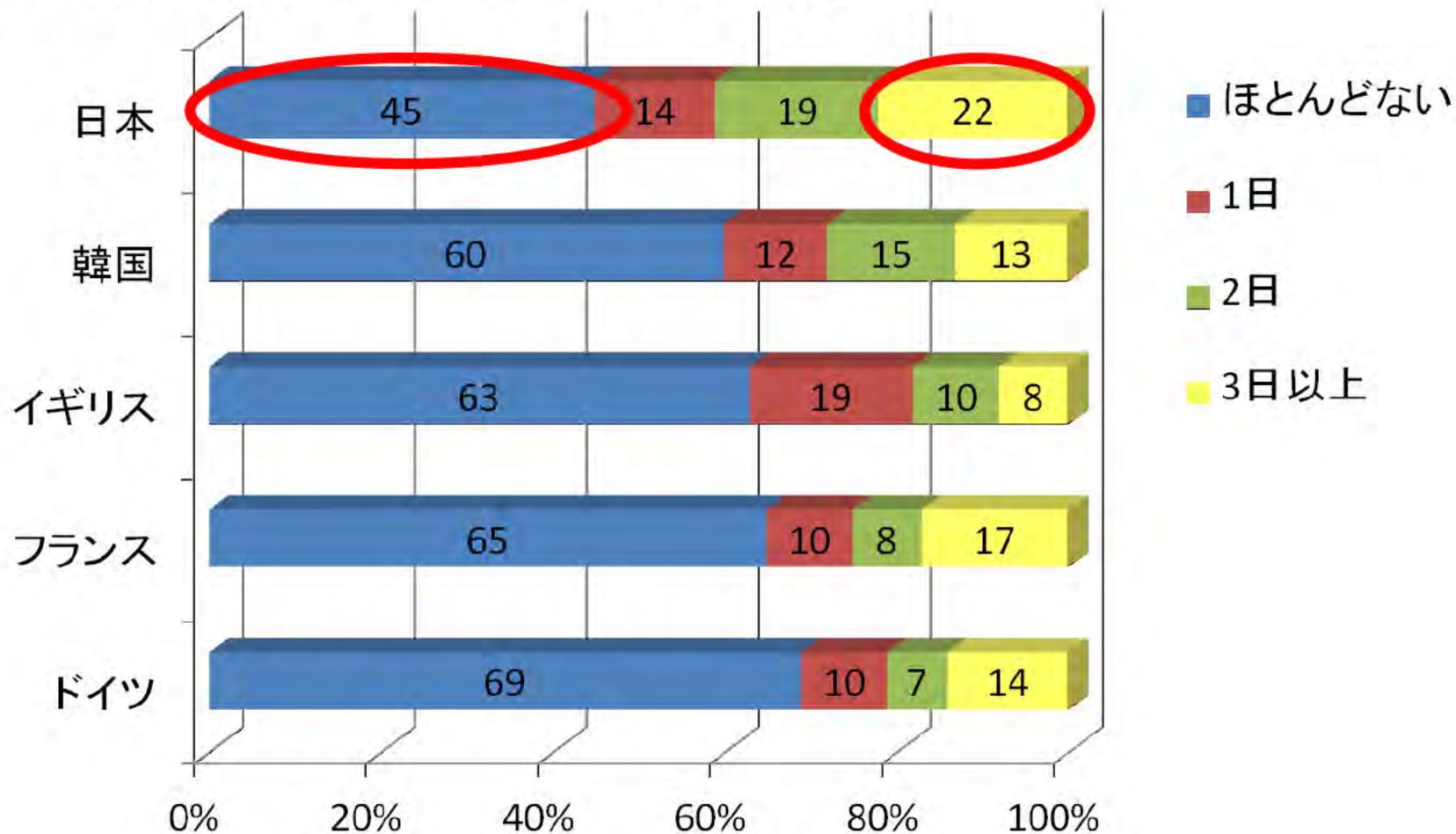
空間

子どもが襲われる
事件が相次ぎ、街から
子どもが消えた

仲間

「ひとりで家で」が中心
アポなしでは
友だちと遊べない

「1週間のうち放課後1人で過ごした日数」



自己肯定感の 少なさ

自分は価値のある
人間だと思う

8%

※米:57%、中:42%、韓:20%
日本青少年研究所「高校生調査」

孤独感

孤独を感じる
ことがある

29.8%

※調査国25カ国中最多
※2位アイスランドの約3倍
ユニセフ「子どもの幸福度調査」

コミュニケーション 不足

放課後に週に2日以上
1人で過ごす

41%

※英:18%、独:21%、韓:28%
「児童の放課後活動の国際比較」

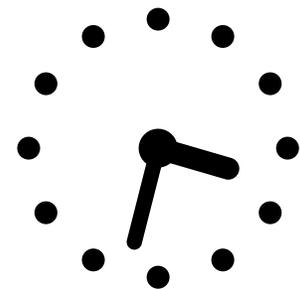
広がる格差

子どもの貧困率

16.3%

※調査国35カ国中ワースト9位
※貧困率は毎年上昇
厚生労働省「国民生活白書」

放課後NPOアフタースクールの活動



放課後は、何時間あるのでしょうか？

(小学校低学年の場合)

学校にいる時間 (年)

**1,200
時間**

放課後や長期休み (年)

**1,600
時間**

組織のビジョン

★ 放課後はゴールデンタイム ★
Creating a fun-derful after-school experience, together.

日本の放課後を
安全で豊かにするために生まれた組織





アフタースクール

アフタースクール3つの特徴

①学校で開催



②いつでも誰でも受け入れ



③市民先生のプログラム



毎日多様なプログラムが開催

衣 program 01



食 program 02



住 program 03



毎日多様なプログラムが開催

ス 
program 04



音 
program 05



文 
program 06



毎日多様なプログラムが開催

学 program 07

理科実験



いのち



商売



遊 program 08

将棋



宝探し



大道芸



表 program 09

ダンス



ものづくり



デザイン



**「みんな絶対にいいところがある」
アフタースクールで一緒に探そう！**



子どもたちの心の変化 (赤字がアフタースクールの子ども)

自分の得意な
ことがある

91%

(一般63%)

自分に
自信がある

61%

(一般30%)

新しいことに
挑戦したい

80%

(一般49%)

親

安心して
仕事ができる

78%

(一般35%)

学校が
好きである

76%

(一般70%)

学校

友達が
たくさんいる

80%

(一般40%)

放課後は子どもたちを救える (学校、家庭の強い味方になれる)



子供と距離の近いスタッフが
子ども10人に1人程度配置され
子どもの困りごとや本音が出やすい

感染症発生時には
いち早く家庭にいる子どもと対話
学校休校時には
アフタースクールが朝から開校

学校で教わったこと
家庭で興味を持ったことを
好きなだけ探究できる時間

本日お伝えしたいこと

子どもたちの放課後を救おう

理由①：放課後ひとりで過ごしている子が多い

- ・失われた3つの間（時間、空間、仲間）

理由②：経済格差が体験格差を生む時代に

- ・遊びもスポーツも体験も費用がかかる時代

理由③：好きなものの存在は生きる意欲になる

- ・好きなもの、認めてくれる人は無限にある



みんなで頑張ります！！



ゴールデンタイム

Creating a fun-derful after-school experience, together.

 放課後 NPO
アフタースクール